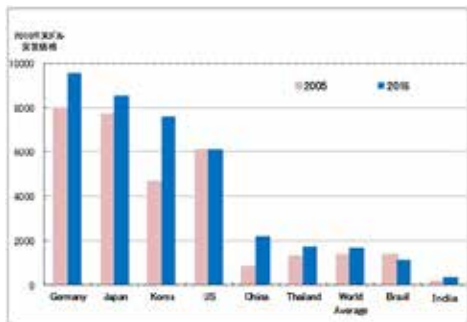


中国製造2025

「中国製造2025」とは、2015年5月に中国政府が発表した中国における今後10年間の製造業発展のロードマップだ。ドイツの「インダストリー4.0」や米国の「インダストリアル・インターネット」と並び、世界が注目している取り組みだ。2049年の中華人民共和国建国100周年までに「世界の製造大国」としての地位を築くことを目標に掲げた。この取り組みは、今後世界の製造業にどのような影響を及ぼすのか。

●「中国製造2025」政策が生まれた背景その1

「中国製造2025」政策が生まれたのには、いくつかの時代的背景がある。中国政府は中国の製造業がコストの面で途上国からの追い上げに直面し、先進国の「再工業化」政策によって革新が遅れてしまい、先進国と途上国の狭み撃ちにあっている。つまり中国の製造業の生産性向上はコストの上昇と一致していない。中国は製造業の生産量では世界一になっているが、国民1人当たりで見ると新興国と変わらないレベルで、米国の3分の1、ドイツ・日本の4分の1しかない。



国民1人当たりの製造業の付加価値比較

●「中国製造2025」政策が生まれた背景その2

次に中国の製造業は、日本、ドイツ、韓国から部品、素材、設備を輸入して組み立てて欧米市場に輸出する組立プラットフォームの存在でしかない。例えば、ロボット生産量は世界トップになっているが、精密減速機の75%、サーボモーターの80%、コントローラーの80%は輸入に依存している。自動車トランスミッションなどの輸入も急増し、貿易収支は悪化している。この状態を脱却すべく、最近では米国への中国からのハイテク製品輸入は急拡大している。アジアのハイテク製品輸出における中国製のシェアは、2000年の9.4%から2014年の43.7%までに急増した。米国政界や政府もハイテク分野における中国の台頭に警戒を強めている。



中国製造2025のキャンペーンイラスト

●「中国製造2025」政策が生まれた背景その3

「中国製造2025」の重点分野
次世代情報技術 (半導体、次世代通信規格「5G」)
高度なデジタル制御の工作機械・ロボット
航空・宇宙設備 (大型航空機、有人宇宙飛行)
海洋エンジニアリング・ハイテク船舶
先端的鉄道設備
省エネ・新エネ自動車
電力設備 (大型水力発電、原子力発電)
農業用機械 (大型トラクター)
新素材 (超電導素材、ナノ素材)
バイオ医薬・高性能医療機械

中国製造2025の重点分野

しかし、米国の対中ハイテク分野の輸入は、スマホやパソコンなどの組立製品が中心で、90%以上を占めている。これらのIT製品は、米国や日本、韓国、台湾からキーパーツを輸入して組み立てているだけ。中国のICチップ貿易の赤字は、2011年の1,376億ドルから2017年の1,933億ドルに急増した。因みに付加価値で見ると、アップルのiPhone 7における中国の取り分は数%しかない。中国では、産業の付加価値向上を急ぐ政策が必要不可欠だと

いう認識が強まっており、一方的な制裁などの政治的な理由や技術独占などの経済的な理由で「他人に束縛される」という強い「弱者意識」が存在している。このような新産業革命のうねりにタイミングよく乗っていくために、イノベーションモデルへの転換が必要であるとの認識から、「中国製造2025」という中国独自の包括的な製造業高度化戦略が生まれ、2015年に公表された。

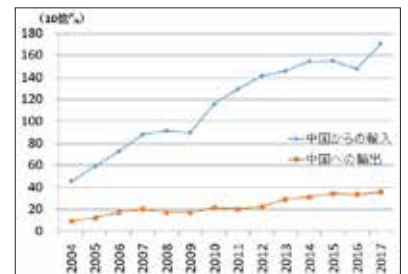
●3つのフェーズに分かれ5つの基本方針

計画は具体的かつ明確だ。「5つの基本方針」と「4つの基本原則」に則って、2049年までにやるべきことを3段階で明記している。第1段階としては、2025年までに「世界の製造強国入り」を果たす。これが「中国製造2025」に相当する。次に、第2段階として2035年までに中国の製造業レベルを、世界の製造強国陣営の中位に位置させる。そして第3段階として、2045年には「製造強国のトップ」となるというものだ。5つの基本方針には、イノベーション駆動/品質優先/環境保全型発展/構造の最適化/人材本位が掲げられている。

これまで中国は潤沢な労働力と低い賃金による「労働力労働密集型」の製造体制で、衣料品などの大量生産品の供給を支えてきた。しかし、今後は労働構造の転換を図り、ITやロボット、AIを活用した「技術密集型/知能的集合型」の産業にシフトする必要がある。その背景には、経済発展に伴う中国内の人件費の高騰や、「一人っ子政策」による労働人口の減少がある。

●2025の中身は

第1段階である2025年までの目標は「世界の製造強国の仲間入り」。品目ごとに国産比率の目標を設定しており、例えば産業用ロボットでは「自主ブランドの市場占有率」を25年に70%とした。次世代通信規格「5G」のカギを握る移動通信システム



米国の対中国ハイテク製品ATP貿易

設備では25年に中国市場で80%、世界市場で40%という高い目標を掲げた。中国政府は中国製造2025の策定後、関連産業に対する金融支援や、基盤技術の向上支援などの施策を相次ぎ打ち出している。中国と技術覇権を争う米国は中国製造2025の中身に警戒を強めている。2018年に入ってから開かれた米中貿易協議の中で、米国は中国に対し関連産業への補助金といった政府支援の中止など計画の抜本的見直しを要求したが、中国は応じない姿勢を続けている。

●米中貿易摩擦の根源

トランプ政権は中国政府が補助金を投じて進めるハイテク産業育成を問題視。米企業の知的財産権の侵害や、米企業への技術移転の強要が横行する温床になっているとして、中国との貿易協議で同政策の撤回を迫っているとされる。ただ、習近平政権の肝いりで進めている同政策について、中国政府がどこまで踏み込んだ抜本改定ができるかは不透明だ。トランプ政権内で厳しい対中政策をとる幹部らが「懐疑的」な見方を示す可能性がある。トランプ米大統領は11月の記者会見で、「中国製造2025はとてつもない侮辱だ」として、中国が計画を取り下げる必要があるとの考えを示している。今後の大きな火種になっている。

※関連の情報をWEBから集め著者改編しました

京都経済センター始動



いよいよ3月中旬のグランドオープンから始動する「京都経済センター」。いろいろな組織の移転も真っただ中で、メインの商工会議所は3月5日から当地で稼働する。グランドオープンに先んじてその概要を紹介する。

●商業施設は「SUINA（すいな）室町」

当センターの地下1階から地上2階に入る商業施設名称が「SUINA（すいな）室町」に決定した。商業施設に入居する、京都らしさをコンセプトとしたバラエティ豊かな出店テナントが、四条烏丸・四条室町エリアに新たなにぎわいを創出する。ネーミングの由来は、京ことば「粋な（＝すいな）」。誰もが惹きつけられる魅力ある「粋な」場所になってほしいという意味が込められている。さらに、特別でお気に入りの「好（す）い」ている場所となり、みんなから「好（す）い」てもらえて、心奪われる「酔（す）い」な場所であってほしいという願いも込められている。ロゴマークは「粋」という漢字を幾何学的に構成。室町は藍染の街なので、藍色を基調とし、落ち着いていながらもにぎわいとしての華やかさも表現している。



SUINA 室町ロゴ

●「SUINA 室町」フロア概要

「おいしい古都（コト）がはじまる」フロアごとにイメージされる京都らしい空間。京都の食材も取り入れた美味しいものから書籍や雑貨まで、「おいしい」が人々を繋げる施設。地下の飲食フロアについては、ヨーロッパで発祥し、アメリカで人気のフードスポットとなっている「フードホール」をベースとした新しい飲食エリア「SUINA 室町 FOOD HALL」が登場。ここでは、多彩な人気店の料理を気軽に楽しむことができる。四条烏丸というビジネス街、住宅街、観光地近くに立地する駅直結の商業施設として、様々な人が昼から夜まで利用でき、仕事帰りのちょっと一杯まで、飽きることのない自由な空間と時間を提供しながら、地元京都を中心とした個性豊かな味と価格にこだわった店舗が集結する。



フードフロアイメージ

●1階2階は書店と物販

1階フロアには地元の大垣書店が入る。店舗デザインは「京町家」をモチーフに「街」を表現し、京都らしい空間を提供。書店以外に、雑貨店、飲食店、高級ミートデリ店などと一緒に新たな店舗展開を目指し、「旬な京都」をテーマに京の文化を伝え、京の新しさを提案する。



フロア構成図

●3階から7階はオフィスフロア

京都商工会議所や京都工業会、京都府中小企業センター、京都信用保証協会、京都府中小企業団体中央会、京都府商工会連合会など主要経済団体が集まる。中小企業の事業承継や海外販路開拓も支援する組織も入る。目玉の一つは3階に学生や若者の起業を支援する「オープンイノベーションカフェ」を立ち上げる。150平方メートルほどの広さに自由に利用できるWiFiや飲み物を用意し、起業を目指す若者が先輩の経営者らと情報交換をする場にする。利用時間は午前7時半から午後9時まで。「社会課題に対応したベンチャーを創出する力を持った人材の育成」が目的だ。期待通りの成果を挙げるための努力が必要だ。



京都経済センター四条通り正面玄関

●抜群のアクセス

以前の京都産業会館のときもそうだったが、地下鉄四条駅、阪急からすま駅から地下通路で直結されている。JR京都駅からは地下鉄で10分とかからない。京阪は祇園四条駅から少しかかるが、それでも河原町から烏丸までひと駅。まさに京都市内のど真ん中にこれくらい



京都経済センター室町通り

多くの機能を有する機関が一堂に会することは、非常に意味がある。加えて、歩いて数分のところに多くの主要な金融機関の本店がある。近いということは、何にも増して大きい。

●課題は駐車場？

今回集まった多くの支援機関は、以前に入居していた場所には比較的広い駐車場を確保していた。商工会議所、保証協会、中央会、商工会連合会、工業会などは比較的広い駐車場が利用できた。ところが今回からはそうはいかない。地下に駐車場はあるが、はたして大きなイベントがあると大勢の参加者が駐車できるスペースは限られる。それを見越してか、付近のコインパークを某大手が買い占めに走っているという情報もある。

●祇園祭のときは

7月に開催される祇園祭のときは周囲に多くの山鉾が立ち並ぶ絶景のスポットになる。正面の四条通り、室町通り、綾小路通り、新町通りなど本当に目の前の通りに多くの鉾や傘が立ち並ぶ。7月の13日くらいからは多くの露店が出て、夕方くらいからは人、人、人で埋め尽くされる。果たしてその期間、仕事になるだろうか。鉾町の役員の方の会社は、7月に入ると開店休業状態になるという。絶景のスポット過ぎて、果たして祇園祭の期間はどうなるのだろうか。今から心配だ。



祇園祭

注目 企業 のご紹介

株式会社ライフ住宅販売

代表者：島本 猛男（シマモト タケオ）
 所在地：〒600-8385 京都市下京区五坊大宮町96-6
 TEL：075-813-3700 / FAX：075-813-3737
 E-MAIL：info@c21-life.com
 URL：http://www.c21-life.com/
 設立：1999年4月
 資本金：1,000万円
 従業員数：13名
 事業内容：不動産代理業・仲介業
 （土地建物販売・仲介、空き家調査・活用事業）



大宮高辻本社



社長の島本猛男さん



店内



キッズスペース

平成29年9月度のオスカー認定企業。そのときのオスカー認定企業は、株式会社青木光悦堂、有限会社アドバンク、コスメディ製薬株式会社、株式会社阪村エンジニアリング、株式会社ユウコス、そして株式会社ライフ住宅販売の6社だった。

株式会社ライフ住宅販売は、「ドアツードア」での空き家探しと、適切な個別提案という新しいビジネスモデルで古都京都の活性化を目指す企業として経営革新を行っている。

事業の内容や特徴としては、京町家をはじめとした物件集めを目的とする空き家探しに特化し、営業担当者が担当地域を徹底的に複数回調査。そして、独自のシステム・ノウハウにより空き家所有者へ売却や賃貸、リフォーム等の有効活用を提案することで京都地域の空き家解消に貢献している。

また、平成27年5月には平成11年の創業以来慣れ親しんできた京都市左京区から、平成27年1月に下京区に社屋移転をしたことを期に、お客様、取引先様、そして何よりも社員全員に、株式会社ライフ住宅販売の事業内容や「強み＝知恵」を改めて知ってもらうため、『知恵の経営』報告書を作成した。

小さい子供がいる家族の方が来店時にゆっくりと話しが出来るよう、お子様に楽しんでいただくためのキッズスペースを用意している。毎日除菌清掃を行っている。女性用化粧室にはオムツ交換台まである。



知恵の経営報告書

※オスカー認定とは

優れた事業計画（パワーアッププラン）により積極的に経営革新に取り組む中小企業を「オスカー認定」し、計画の実現に向けた継続的な支援を実施することで、京都経済の中核を担う中小企業を育成。企業価値創出（バリュークリエーション）支援制度では、元気な中小企業の経営革新計画や企業価値向上計画を募集し、2002（平成14）年から2008（平成20）年度までに、100社を「オスカー認定」した。2010（平成22）年度から、ASTEMと財団法人京都市中小企業支援センターとの立地統合を経て、京都市産業技術研究所（知恵産業融合センター）や京都商工会議所等との連携強化などさらに充実を図り再開。現在までに190社を認定。

シリーズ“診療室から”

第5回 救命処置

1年のうち12月から2月にかけて死亡数が急激に上昇します。その理由は冬は寒さの影響で、血圧が高くなったり、寒暖差により引き起こされる血圧の急な変動が、血管や心臓に負担をかけ、心疾患や脳血管疾患を発症し、突然死にもつながるからです。身の回りでこのような病気や事故などで心停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生などの応急手当を行う必要があります。日本では、119番通報があってから救急車が現場に到着するまで平均9分かかります。心臓と呼吸が止まってから時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下しますが、心肺停止後20分以内に応急処置を行えば、救命の可能性は約2倍になることがわかっています。

救命処置の手順としては、「もしも目の前で人が倒れたら」と仮定して、まず大きな声で協力者を捜し119番通報します。次からはABCの順番で覚えてください。（順番を間違えると救命処置が上

手くいきません）A（airway）気道の確保：空気を肺に通しやすくする為に、片手を額に当てあご先を挙上します。B（breathing）呼吸の確認：自発呼吸が無い場合は、口対口人工呼吸により息を吹き込みます。C（circulation）心臓マッサージ：人工呼吸が終わったら、直ちに胸骨圧迫を開始し、全身に血液を送ります。人工呼吸2回胸骨圧迫30回を救急車が到着するまで繰り返します。（この後AEDが近くにあり必要になる場合は機械の音声メッセージに従えば簡単に操作できます）この処置により助かる命が沢山あります。応急手当の知識と技術を是非身につけておきましょう。

垣田 時雄（洛星高校第13期卒業）

かきた内科医院
 京都大学医学部医学博士
 〒600-8107 京都市下京区五条通り室町西入高橋第6ビル2階
 TEL・FAX：075-351-1275

3月度 勉強会のご案内

NMO 勉強会 京都例会

<http://www.nmo.ne.jp/business/it-kyt.html>

第207回

日時：3月13日（水）19:00～21:00…第2水曜日です！
※03月の例会は、通常の03/14（木）に主催者の東京出張が入り、水曜日に変更します

会場：COCON 烏丸4階セミナールーム

講師：藤井 恵介氏（社会保険労務士法人ミライガ代表社員
／株式会社成岡マネジメントオフィス社外取締役）

テーマ：4月から始まる働きかた改革の現場実践編
～規模の大小に関係ない有給休暇の強制取得その他～

参加費：1000円（当日徴収）

第25期（2019年度前期）成岡秀夫経営塾

マネジメント基本講座シリーズ

時間 13:30～17:00

場所 京都市下京区烏丸四條 COCON 烏丸ビル4階シテラボ内
セミナールームにて

形式 成岡からの講義形式／毎回自由参加

費用 毎回5,000円（テキスト代金・諸費用込み）

※6回すべて受講される方は25,000円（ただし前納ください）

定員 10名で先着順／申込後のキャンセルはできません

申込 ホームページ、Eメール、FAX、電話にてお申込みください

スケジュールと内容

講座番号	開講日	曜日	課題
25-1	2019/4/14	日曜日	決算書・試算表を理解する ～貸借対照表の資産と負債の意味～
25-2	2019/5/12	日曜日	決算書・試算表を理解する ～損益計算書が表す売上と利益～
25-3	2019/6/16	日曜日	決算書・試算表を分析する ～キャッシュフロー計算書からつかむ資金の動き～
25-4	2019/7/7	日曜日	設備投資と資金繰りの基本 ～投資判断基準と現実の資金繰りのポイント～
25-5	2019/8/4	日曜日	管理会計を活用し収益管理の方法を知る ～どうすれば収益が増えるのか～
25-6	2019/9/8	日曜日	事業計画を作成する ～3年先を考えそこから来年を計画する～

編集後記

四条烏丸に約3年がかりの大工事を終えて、京都経済センターがお目見えした。グランドオープンは3月中旬なので、まだ仮オープンだが続々と京都市内に分散していた支援機関が終結している。成岡の所属の診断協会が一番早く2月1日に移転入居した。その後、京都信用保証協会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都工業会などの大口が移転し、3月5日に京都商工会議所が移転する。しんがりにはJETRO京都事務所だ。さあ、これから面白くなりそうだ。（な）

今月の 推薦図書

「中国製造2025」の衝撃

著者：遠藤 誉
発行：株式会社PHP研究所
発行日：2019年1月11日
定価：1,700円＋税
ページ数：284ページ
版 型：B5版

2012年9月尖閣列島が日本に国有化され、中国で日本製品排斥の激しい運動が起きたことは、記憶に新しい。実は、この中国製造2025はこれがきっかけで始まった政策だ。2012年11月に習近平政権が誕生し、よく見れば中国本土で製造している（ことになっている）スマホなどの主要な部品は、当時大半が日本製だった。中国は何をしていたかという、組立をやっていたに過ぎない。これに気が付いた習近平政権は、俄然中国国内で製造業を革新させることを政策に掲げた。2013年に製造強国戦略研究に着手、そして2015年の発表に至った。ところが、皮肉なことにトランプ政権の誕生で事情は一変した。対中強硬路線に打って出て、なんと2025計画を阻止する戦略に出ている。これからの動向に目が離せないのと、日本はまともにこの影響を被る可能性が高い。何が真実か、何が起きているのかをしっかりと勉強しておく必要がある。

目次

まえがき：米中貿易戦争の根幹は「中国製造2025」
第1章：「中国製造2025」国家戦略を読み解く
第2章：世界トップに躍り出た中国半導体メーカー
第3章：人材の増減（るつぼ）に沸く中国
第4章：習近平の「宇宙支配」戦略
第5章：習近平、世界制覇へのロードマップ
あとがき：「一带一路一空一天」



書名：Googleの哲学

著者：牧野 武文（ITジャーナリスト）
発行：大和書房
発行日：2018年3月1日（第二刷）
定価：700円＋税
ページ数：260ページ
版 型：文庫版

多くの人はGoogleが成功したあとの話には興味がある。しかし、大半の人はGoogleが成功するまでの歴史を知らない。「世界中の情報を整理し、世界の人がアクセスできて使えるようにすること」という、当時の大人であれば誰もが苦笑する妄想ともいえるミッションを掲げて、突き進んだ。その過程で前例にとらわれず、新しい発想でイノベーションを次々と行い、ときにそれまでの既得権益で守られていた業界から、誹謗中傷を浴びたり白い目で見られた。

この書籍では、Googleが上場するまでに何を、何を成し遂げてきたのかを、綿密な取材に基づき書き下ろしている。成功のあとの話よりも、成功の前に学ぶことは多い。まさに、その教科書ともいべき一冊。

目次

まえがき：わたしたちがGoogleから学べること
第1章：世界を変える働き方
第2章：他を圧倒する「Google式思考法」
第3章：「新しい価値」を生むイノベーション術
第4章：Googleはこうして世界に君臨し続けている
第5章：Googleがつくりだす「未来」



成岡マネジメントオフィス事務所通信

BUSINESS MANAGEMENT & COORDINATION

NMO
株式会社 成岡マネジメントオフィス

発行人：成岡秀夫
〒603-8377 京都市北区衣笠西御所ノ内町26番地
TEL：075-366-6611 FAX：075-366-6100
E-mail：info@nmo.ne.jp
送付先の変更は、上記へEメールまたはFAXでお知らせください。

NMOホームページ

<http://www.nmo.ne.jp>

勉強会の様子や講演活動の記録など掲載しています。
メールマガジンのお申し込みもこちらからどうぞ。

成岡マネジメント

検索